



有限会社 テキスタイルカノウ

1つ山カーテン対応の自動ヒダ取縫機を導入 生産性と品質が向上、増加するニーズに対応

オーダーカーテンの製造、縫製、卸販売を行い、さまざまなニーズに対応しています。現在はインテリアテキスタイル専門商社が取り扱う国内外のブランドカーテンのオーダーメイド製造を請け負っているほか、専門販売店や個人顧客からのオーダーも受けています。長年培ってきた高度な技術力には自信を持っており、オーダーメイド製法に特化した充実した設備により、満足度の高い高品質の製品を製法しています。廉売製品の品質とは一線を画し、特にレースなど柔軟性のある生地の高品質な縫製も高いレベルで仕上げることができます。近年では、1つ山カーテンの需要増加に伴い、自動ヒダ取縫機を新たに導入し、生産性と品質の向上に努めています。

代表取締役 加納 真弓



ものづくり技術 小規模型 試作開発等

事業計画名 工程改善による生産体制の強化及び需要の高い製品サンプルの開発

課題

- 生産性の悪化
- 人員不足
- ヒダの「1つ山」のニーズへの対応
- 新機械導入による誤差調整

取組

- 自動ヒダ取縫機「ヒダ取りMAX」を導入
- 操作方法の習得
- 4種類のカーテンの試作品開発

成果

- ヒダ取り工程の改善
- 縫製時間短縮による生産性の向上
- ヒダの山の跡をなくすなどの品質向上

取組への経緯

カーテンにおける通常のヒダ作りは、美しいシルエットやエレガントな雰囲気を醸し出す「3つ山」がスタンダードであった。近年は、「ウェーブを出したくない」「生地柄が見えるようにしたい」など「1つ山」のニーズが増え、全体の約10%となっていた。しかし、1つ山を縫製する機械を保有していなかったため、機械で一度2つ山のヒダを縫製した後、1つの山をほどいて対応しており、非常に手間がかかっていた。今後、人手不足が深刻になる中、製法時間の短縮による生産性と品質の向上が急務であった。



「ウェーブを出したくない」「生地柄が見えるようにしたい」というニーズから、ヒダが1つの「1つ山カーテン」の需要が高まっている

事業概要

本事業では、1つ山を縫製できる自動ヒダ取縫機「ヒダ取りMAX」を新たに導入した。カーテンは機械化が進んでいても、生地によっては、人の手による感覚での調整が必要であった。生地を機械にセットする時の感覚や生地を持つ加減なども、製造機械が変われば、これまでの感覚に微妙な誤差が生じる。そのため、メーカー立ち合いの下、機械設定やデータでの誤差調整の方法などを習得し、テスト加工を繰り返した。その後、顧客の要望を整理しながら、取扱製品の傾向を分析し、自社の製法技術をアピールできる4つの試作品を開発した。



1つ山を縫製できる自動ヒダ取縫機「ヒダ取りMAX」

取組成果活用状況

生産性の向上においては、ドレープ（厚手）幅95cm×丈100cmで1つ山カーテンの試作を行った。その結果、それまでの工程では1枚あたり約8分を要していたが、約2分20秒となり、約5分40秒の時間短縮、生産性も3倍となった。品質の面では、これまでの製法では、ヒダの山の修正跡が残ってしまっていた。特にレースは繊細な素材であるため、跡を修正することはできなかったが、自動ヒダ取縫機の導入により、ヒダの山の修正自体が必要ではなくなったため、修正跡の問題も解消された。

今後は、さまざまなサンプル製品の製造に取り組み、提案の幅を広げていくことを考えている。販売会社には、製造したサンプルをもとに、製造可能な製品の説明をし、また、需要が高まっている1つ山カーテンの特性を生かしたデザイン性の高い製品の提案も行っていく。一般消費者に向けては、通信販売サイトにおける自社ショップでのPRを行い、柄や生地だけでなく、製品全体としてのデザイン性も提案していきたい。



メーカー立ち合いの下、機械設定やデータでの誤差調整の方法などを習得した



大幅な時間短縮と品質の向上が図られた

COMPANY INFORMATION

有限会社 テキスタイルカノウ [家具・装備品製造業]

〒501-0454 本巣郡北方町高屋白木3-47
TEL.058-324-7074 FAX.058-324-7433

動画を
チェック



- 代表者/代表取締役 加納 真弓
- 設立/平成16年7月2日
- 資本金/300万円
- 従業員数/17人
- 事業内容/オーダーカーテンの製造・縫製、卸販売
- HP/http://www.tex-kano.jp/
- E-mail/info@tex-kano.jp